

- 問1 飛鳥時代から平安時代にかけて、日本の朝廷は先進的な制度や文化を学ぶために中国へ使節を派遣しました。この使節の名称にも使われており、日本の律令国家形成に大きな影響を与えた中国の王朝名を選びなさい。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 宋 2. 唐 3. 隋 4. 元
- 問2 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）が制定したとされる、政治を行う役人（官吏）の心得や道徳を示した法規を何といいますか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法 2. 大宝律令 3. 公家諸法度 4. 御成敗式目
- 問3 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に定められた「冠位十二階」の制度について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため 2. 有力な豪族に対し、代々特定の役職に就く特権を認めるため 3. 仏教の教えを政治の基本とし、国民全体の道徳を高めるため 4. 戸籍を作成して人々に土地を割り当て、税の徴収を確実にするため
- 問4 701年に制定された「大宝律令」では、唐の制度を模範として、刑罰の規定である「律」と、政治の仕組みや税の義務などを定めた「令」が体系化されました。このように、高度な法体系を導入することで当時の政府が目指した国家の姿として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 天皇を中心とする中央集権的な政治体制を確立し、国家の統治を強固にするため 2. 各地の豪族がそれぞれの土地を独自に支配する、分権的な連合国家を維持するため 3. 武家が土地を介して主従関係を結ぶ封建制度を、法的に正当化するため 4. 海外との自由な貿易を促進するために、民間の商人に独自の特権を付与するため
- 問5 天武天皇から持統天皇の時期にかけて進められた、天皇中心の政治体制を整えるための具体的な記述として最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 仏教の力で国家を守るため、全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた。 2. 冠位十二階を定めて家柄にとらわれず才能のある人物を登用し、憲法十七条を作成した。 3. 飛鳥浄御原令の編纂や、日本という国号、天皇という称号の使用を定めた。 4. 平安京へ遷都を行い、新しい仏教勢力と結びついて律令政治の立て直しを図った。
- 問6 7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）らが中央集権的な国家体制を整えるために定めた、個人の才能や功績に応じて位階を受ける制度を何といいますか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 冠位十二階 2. 十七条の憲法 3. 公地公民 4. 班田収授法
- 問7 聖徳太子が、十七条の憲法の中で「あつく三宝を敬え」と記すなど、政治に仏教を積極的に取り入れた目的として最も適切な説明を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 仏教を精神的な支えとすることで、豪族を団結させ、天皇を中心とした国家体制を安定させるため 2. 仏教の教養を役人の採用基準とするため、中国の「科举」の制度を完全に模倣するため 3. 寺院を軍事的な拠点として整備し、対立する豪族を武力によって制圧するため 4. 大陸から移り住んできた渡来人の勢力を弱め、古来の日本の神々への信仰を独占するため
- 問8 645年に中大兄皇子と中臣鎌足らが、有力豪族であった蘇我氏を倒して始めた、天皇中心の国づくりを目指す一連の政治改革を何と呼びますか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 明治維新 2. 建武の新政 3. 承久の乱 4. 大化の改新
- 問9 7世紀後半、日本（倭）は百済の復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、中国の唐と新羅の連合軍に大敗を喫しました。この「白村江の戦い」での敗戦直後、日本が国家の存立をかけて最優先で取り組んだ政策の方向性として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. 唐との友好関係を回復させるため、遣唐使の派遣を一時中断し、日本独自の国風文化を育成する方向 2. 唐や新羅の侵攻に備えて各地に防衛拠点を築くとともに、戸籍の作成などを通じて天皇による国内統治を強める方向 3. 仏教の力を国家の守りとするため、聖武天皇の命により東大寺に大仏を造立し、全国に国分寺を建立する方向 4. 豪族たちの私有地と私有民を認めることで国内の不満を抑え、有力な氏族を中心とした連合政権を維持する方向
- 問10 推古天皇が聖徳太子を「摂政」に登用して行った政治の説明として、当時の制度や目的をふまえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 平城京への遷都を円滑に進めるため、聖徳太子に新しい都の設計と建設の全権を委ねた。 2. 武士の力を抑えるために聖徳太子を任命し、地方の反乱を鎮圧するための軍事指揮権を与えた。 3. 日本独自の国風文化を育てるため、聖徳太子に命じて遣隋使の派遣を停止し、大陸との交流を断った。 4. 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。
- 問11 645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振っていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 足利尊氏 2. 中大兄皇子 3. 大海人皇子 4. 聖徳太子
- 問12 天智天皇の死後、その後継者をめぐって起きた672年の壬申の乱に勝利し、天皇を中心とした強力な支配体制の確立を目指した人物は誰か。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 聖徳太子 2. 桓武天皇 3. 中大兄皇子 4. 天武天皇
- 問13 推古天皇の摂政として政治を行い、冠位十二階や十七条の憲法を制定した人物は誰ですか。この人物は遣隋使の派遣や法隆寺の建立も行い、天皇を中心とする国家体制の基礎を築きました。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 聖徳太子 2. 菅原道真 3. 中大兄皇子 4. 小野妹子